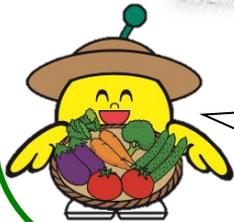


けんぼく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース



田植え作業の様子(福島市松川町)



今年も田植えが始まりました！秋には美味しいお米をお届けしますよ～！

～目次～

- 県北農林事務所 新所長挨拶・・・・・・・・・・ P 1
- 凍霜害被害を受けられた皆様を支援してまいります・・ P 2
- 株式会社フェリスラテがJGAP(家畜・畜産物)認証を取得しました！・・・・・・・・・・ P 3
- 台風19号災害からの復旧完了！～白沢揚水機場～・・・・・・・・・・ P 4
- 安達地域青年農業者クラブ通常総会・令和3年度第1回定例会が開催されました！・・・・・・・・・・ P 5
- 農業総合センター長期就農研修(果樹)入所式が挙行されました！・・・・・・・・・・ P 5
- 安心安全な多面的機能支払交付金の活動をお願いいたします！・・・・・・・・・・ P 6～P 7
- 「森林保全巡視員辞令交付式」及び「森林パトロール協議会」を開催しました！・・・・・・・・・・ P 8
- けんぼく6次化ミーティング会員募集中！・・ P 8
- 「福島地域酒米研究会」の総会が開催されました！・・・・・・・・・・ P 9
- ちょっと一息「今月のインスタ」・・・・ P 10

県北農林事務所 新所長挨拶

4月1日に所長として着任しました安田宏幸です。

県北農林事務所での勤務は初めてですが、果物やきゅうりなど全国トップクラスの産地として本県農林業を牽引するこの地域で勤務できることをたいへん光栄に思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

県北地方は、東西に豊かな森林が広がり、ももや日本なしなどの果物をはじめ、きゅうりやいちご、小菊やトルコギキョウなど、園芸品目は県内産出額の4割以上のシェアを誇るほか、畜産物、米、きのこなど、おいしい農林産物の生産が盛んな地域です。

また、県内の昨年度の新規就農者は204名でしたが、このうち70名が当地方で就農するなど、担い手の確保に大きな期待が寄せられております。

しかしながら、原子力災害による風評は根強く残っており、さらには今般の凍霜害等の気象災害や新型コロナウイルスの影響など、当地方の農林業は様々な厳しさに直面しております。

県北地方の農林業がさらに発展できるよう、基盤整備や森林再生、担い手対策など生産の基盤となる環境整備をしっかりと進めながら、魅力にあふれる農林産物の生産力と競争力を強化し、強い産地をより強くすべく、県北農林事務所の総力をあげて取り組んでまいります。

農林業を営む方々が安心して希望を持って仕事ができるように、まずは皆様の声や思いをしっかりと受け止めて対応してまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



凍霜被害を受けられた皆様を支援してまいります

4月の凍霜による被害額は県全体で27億円を超え、特に、果樹産地である当地方では被害面積1,155ha、被害額22.6億円で甚大となりました。被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

今後、被害の拡大防止や被害を受けなかった果実が確実に収穫できるように、技術情報を発行するとともに、巡回指導により適切な事後対策の徹底を図ってまいります。

さらに、被害を受けた果樹の高品質生産のための資材等の購入、追加となる果樹せん定等の管理作業経費、防霜ファンの導入等への支援措置を講じるとともに、収入保険への加入促進を図り、営農の継続と経営安定化を支援してまいります。

凍霜害に関する技術対策や支援策に関する相談は、農業振興普及部又は農業普及所までお問い合わせください。

(農業振興普及部)



霜害を受けたももの花(伊達市梁川町栗野)



霜害により裂果した日本なし(福島市笹谷)

4月発生凍霜害による管内の被害状況

市町村	被害額 (百万円)	被害面積 (ha)	被害作物
福島市	527.0	210	日本なし、もも、りんご、おうとう、ぶどう
川俣町	0.8	1	たらのめ
伊達市	908.8	644	もも、かき、おうとう、キウイフルーツ、ぶどう、西洋なし
桑折町	347.8	101	もも、かき
国見町	334.3	137	もも、かき、おうとう、あんず
二本松市	113.0	46	りんご、日本なし、かき、おうとう、もも、桑
本宮市	18.7	13	ぎんなん、りんご、かき、桑
大玉村	9.4	2	もも、おうとう、日本なし、りんご
小計	2,259.8	1,155	

凍霜害に対する支援策

1 凍霜害緊急対策事業(農業災害対策)(60,600千円) 農作物の樹勢の維持・回復、高品質生産のための資材や、花粉や防霜資材等の購入への支援(補助率:県1/3以内)
2 凍霜害緊急対策事業(果樹産地強化対策)(392,868千円) 果樹で追加して必要となる管理作業(剪定)の経費への支援(補助率:36,000円/10a)
3 凍霜害緊急対策事業(果樹産地防霜施設整備対策)(105,000千円) 防霜ファンの導入を促進するための国庫事業への県費上乗せ補助(補助率:1/4以内)
4 農家経営安定資金【小災害資金(令和3年4月凍霜害災害資金)】の融通(貸付限度額300万円以内) 県が、融資機関に対し利子の一部を助成し、融資機関には0.3%以内の貸付利率を設定

株式会社フェリスラテがJGAP(家畜・畜産物)認証を取得しました！

福島市土船にある県内随一の酪農の大規模牧場である「株式会社フェリスラテ」が、令和3年3月5日付けでJGAP認証(乳用牛・生乳、肉用牛)を取得しました。

「株式会社フェリスラテ」は、東日本大震災後の平成26年に、原発事故被災休業酪農家5戸に対して福島県酪農業協同組合が牧場施設を貸し付ける形で始まった経営であり、現在およそ500頭の経産牛と350頭の育成牛を飼養し、毎日15トンの生乳を生産しています。

社訓に「牛にやさしく 人にやさしく 笑顔のために」を掲げ、“牛と共に生活を営む共生の精神で、牧場内で同じ目標を掲げる仲間たちを信頼し思いやり、牛がのびのびと暮らすことができれば、私たちは精神的・経済的にも笑顔になれる”と考え、農業後継者としてスキルアップを望む若者や、非農家でも牧場を持ちたい若者、とにかく牛の世話がしてみたい老若男女など、様々な人が集まり酪農を営んでいます。

今回のJGAP認証取得を契機として、社訓の目標を引き続き推進し、トップランナーとして本県酪農の発展に寄与していただきたいと思います。

当事務所としましては、各関係機関と連携しながら、今後とも支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



フェリスラテの役員の皆様



JGAP認証書(乳用牛・生乳、肉用牛)

※GAP・・・ GAP とは、Good(良い) Agricultural(農業の) Practice(行い) の略語で、農業生産工程管理と訳され、食の安全性を確保することが目的です。

具体的には、生産の現場において、食品の安全確保、環境の保全、労働の安全などの観点から、安全に農業生産を実施するための管理ポイントを整理し、それを記録、検証して、より良い農業生産を行うことです。



台風 19 号災害からの復旧完了！～白沢揚水機場～

本宮市にある白沢揚水機場は、阿武隈川からポンプ3台により揚水し、約 680ha の水田に農業用水を供給する施設です。令和元年台風 19 号により、1 階電気室が約 2m 浸水し、稼働できなくなりました。稼働ができないと、米の作付けができない等、受益地に大きな影響を及ぼすことから、令和 2 年の作付けに間に合うよう、応急工事で 1 台を仮復旧した後、県営災害復旧事業により本工事を実施し、令和 3 年 3 月に全てのポンプが稼働できるようになりました。

これにより、受益者の皆様が安心して農業用水を使用できるようになり、持続的な営農が期待されます。

(農村整備部)



白沢揚水機場内 (被災時)



(工事完了)



白沢揚水機場内主変圧器 (被災時)



(工事完了)



田植時期の白沢地区



安達地域青年農業者クラブ通常総会・令和3年度第1回定例会が開催されました！

令和3年3月26日（金）、県二本松合同庁舎会議室において、安達地域青年農業者クラブD“ACTH（ダッチ）の「第20回通常総会」ならびに「令和3年度第1回D”ACTH定例会」が開催され、会員7名が出席しました。

総会では、令和2年度の事業報告や決算報告、令和3年度の事業計画等が協議され、承認されました。

第1回定例会では、今年度の活動内容について協議され、先進地視察研修や、郡山市で開催されているマルシェ（開成マルシェ、表参道マルシェ）への出店について活発な議論がされました。マルシェには、D“ACTHの存在を知ってもらうため、また直接消費者と接し、自身の栽培する作物を効果的にPRするため、昨年度から積極的に出店しています。

当所では、今年度もD“ACTHの活動目標を達成できるよう、重点的に支援を行っていきます。

（安達農業普及所）



定例会の様子



昨年度の開成マルシェ出店の様子

農業総合センター長期就農研修(果樹)入所式が挙行されました！

令和3年4月8日（木）、農業総合センター果樹研究所において、農業総合センター長期就農研修（研修科目：果樹）入所式が挙行され、今年度の研修生9名が入所を許可されました。

果樹研究所での長期就農研修は長い歴史があり、県内に多くの果樹経営農家を輩出しています。

研修生は1年間の研修期間を通して、さまざまな果樹の栽培管理を学び、最先端技術に触れ、研修生同士や先輩農業者との交流を深めていきます。入所式では、研修生9名が今後の研修にあたっての意気込み、就農への思いを発表しました。

当事務所としましても、研修生への就農及び果樹経営に関する支援を継続して行っています。

（農業振興普及部）



研修生が意気込みを発表



記念撮影

安心安全な多面的機能支払交付金の活動をお願いします！

多面的機能支払交付金は、共同活動で地域環境の維持管理に取り組むことにより、水源の涵養や自然環境の保全など、農業農村地域のもつ多面的機能の発揮につながる活動を行っている組織に交付しております。

4月に入り、水稻の作付けに向けた水路や農道の補修、植栽による景観形成など、活動が活発化する中、当事務所管内において、共同活動中に組織構成員が負傷する事故が発生しました。

活動に際しては、安全管理を徹底するとともに、農林水産省が提供している安全管理に関する情報を参考にするなど、事故防止の取組をお願いします。

また、事故に備え、傷害保険等への加入をお願いします。

(農村整備部)

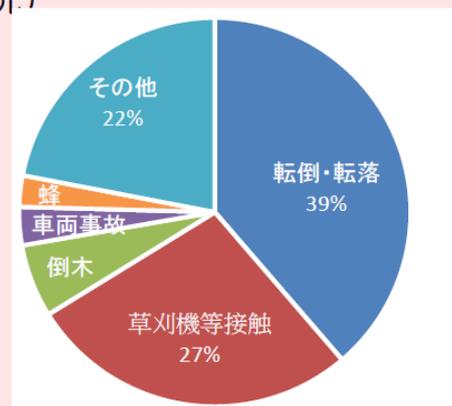
【農林水産省 多面的機能支払交付金 安全管理の徹底】

URL: https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-60.pdf

■ 事故の傾向 (平成24年度～令和2年度の発生状況)

平成24年度から令和2年度に350件の事故が農林水産省に報告されています。発生原因では、転倒・転落(39%)及び草刈機等の接触(27%)で過半数を占めています。

樹木の伐採を行う場合や重機を用いる場合は、重大な事故につながる恐れがあります。また、障害事故のみならず、物損事故も増加しており、特に注意が必要です。



事故原因の内訳 (%)

出典:農林水産省 HP「共同活動の安全のしおり」より



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払交付金 共同活動の安全のしおり

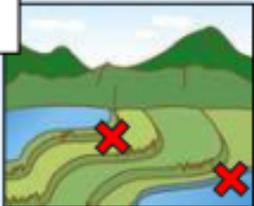
共同活動前に安全確認を行い、
事故の発生を防止しましょう

安全確認チェックリスト

事前
チェック



活動場所の下見をして
作業環境を確認しましたか。



危険な箇所については、
テープ等で印を付けたり、
作業マップにマーキング
しましたか。



参加者の年齢、作業の熟練
度を考慮して作業計画(分
担、配置等)を立てましたか。



作業者は機具等の安全な操作
方法を習得しましたか。



参加者は全員保険に入り
ましたか。



緊急連絡表は作成しまし
たか。

当日
チェック



参加者に危険な箇所の説明
をしましたか。



機具等を用いる場合、点検
は済みましたか。



緊急連絡表の掲示や携帯
はしましたか。

「森林保全巡視員辞令交付式」及び「森林パトロール協議会」を開催しました！

令和3年4月1日(木)、当事務所において令和3年度に森林パトロールを行っていただく6名の森林保全巡視員へ、安田当事務所長より辞令が交付されました。

また、その後に開催された「県北地方森林パトロール協議会」では、令和3年度の県営林及び保安林の巡回指導の方法やポイントについて説明をするとともに、林地開発許可制度や山菜等の出荷制限について情報を提供しました。

今回、森林保全巡視員になられた6名の方は、腕章や名札を付け民有林の森林を巡回していますので、適正な森林の保管理に向け、県民の皆様の御理解と御協力をお願いします。

(森林林業部)



安田所長より辞令書の交付



森林パトロール協議会の状況

けんぼく6次化ミーティング会員募集中！

県北地方振興局と当事務所を事務局とするけんぼく6次化ミーティングでは、地域産業6次化に関する悩み・課題・疑問・相談を受け付け、加工・パッケージ支援、課題等に対して助言指導を行う専門家派遣、補助事業の紹介、申請資料作成のアドバイスなどを行っています。

「地域産業6次化」とは福島県の農林水産資源を基盤として、1次(農業)・2次(製造業)・3次(サービス業)の各産業が相互に連携しながら付加価値を向上・創造する取組の事です。

「けんぼく6次化ミーティング」は、地域産業6次化に取り組もうとする人を応援する会員制の組織です。会員になると、地域産業6次化に関するイベント情報や補助金等の情報をメールマガジンで受け取れます。

すでに地域産業6次化を始めている方や、これから始めたい方でまだ会員になっていない方はぜひ入会してください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kikaku-6jika.html>

(企画部)

「福島地域酒米研究会」の総会が開催されました！

令和3年4月20日（火）、JAふくしま未来南支店において、「令和3年度福島地域酒米研究会総会」が開催され、福島地域酒米研究会会員、福島市および県北農林事務所から14名が出席しました。

議事では、令和2年度の実績のほか、令和3年度の事業計画や予算が検討され、販売促進グッズの作成や新酒お披露目会等を行うことが承認されました。あわせて役員改選が行われ、会長には引き続き、未来農業株式会社の丹野友幸氏が選出されました。また、福島地域酒米研究会に3組の新規会員が加入し、共に良質な酒造好適米の生産を目指すこととなりました。

総会終了後には、福島地域酒米研究会と福島学院大学との包括連携協定式が執り行われ、酒米栽培と日本酒造りに向けた協定が締結されました。

当事務所としましても、良質な酒造好適米生産に向けた栽培指導や情報提供等、積極的な支援を実施していきます。

（農業振興普及部）



丹野会長のあいさつ



遠藤農業振興普及部長のあいさつ



包括連携協定式の様子



ちょっと一息

今月のインスタ

昨年の6月に始めた当事務所のInstagramのフォロワーが 650 人を超えました。フォローしていただいている皆様、ありがとうございます！「こんな写真載せて！」や「うちの6次化商品載せて！」などの御意見・御要望のほか、Instagramへの「いいね」やコメントもお待ちしております。

当事務所のInstagramでは県北地方の農林業に関する情報を投稿しています。他ではなかなか見ることができない農林事務所ならではのマニアックな写真をどんどん投稿していく予定です。

下の二次元コードを読み取ると、Instagramにアクセスできますので、ぜひ御覧ください。

最近、県北の春の風物詩、モモを始めとしたサクランボやリンゴなどの花の写真をアップしています。花の時期は終わってしまいましたが、なかなか間近で見ることができない果樹の写真を見比べてみると、それぞれ特徴があって面白いと思います。

これからの季節はサクランボから始まり、モモ、ブドウ、ナシなどの果樹の情報をはじめ、ファンの多い「〇〇な農業用施設」シリーズもタイムリーに発信していきたいと思っていますので、ぜひチェックしてください。

(企画部)



このアイコンが目印！



「東北(とうぎた)貯水槽」と桜
(二本松市)



見ごろを迎えたサクランボの花
(国見町)



見ごろを迎えたナシの花
(福島市)

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

